

『座右の銘胸に努力して勝つ』を読んで

私が、この「人に学ぶ」で学んだことは、練習をすればできるようになる、練習をしなければいつまでたってもできないということです。だから、できないことをできるようにしようとする強い心を大切にしたいと思いました。また、自分で座右の銘を決めて実行しているところに感動しました。口先だけだったり、ただ思ったりすることは誰にでもできます。しかし、実行にうつすことはとても難しいことだと思います。だから、私も、この高校生のように、座右の銘を決めて、行動にうつすことのできる人になりたいと思いました。

私は、練習をすればするほど技術が身に付いていくのだと思っています。きっと、プロのスポーツ選手は、皆努力家だと思っています。今、私が所属する部の練習はすごくつらく厳しいです。しかし、私は毎日がんばっています。たとえつらくても、自分の技術が上達すると思えば、やる気も湧いてきます。この夏から、2年生が部活動の中心となります。だから、1年生からも尊敬される先輩になれるように、がんばりたいと思っています。さらには、勉強や委員会など、何事にもがんばっていきたいと思っています。

僕は、「練習もせずに遊んでばかりいて、ライバルに勝つことは不可能」とと思っています。努力もせずに相手に勝つなんて考え方が甘いと思いました。僕は、たくさん練習をした者が勝者だと思っています。また、僕も「練習はうそをつかない」という言葉が好きです。ライバルに勝つには努力が必要で、一生懸命練習をすれば、相手に勝つことができると信じています。楽しく勝てるわけがありません。これからも、僕も「練習はうそをつかない」という言葉を信じて、がむしゃらに練習してみようと思いました。

私は、「練習はうそをつかない」という言葉を聞いて、この通りだと思いました。私は、ブラスバンド部で、1年生の頃よりも基本練習をしたり、ペットボトルを使つての呼吸練習をしたりしています。そして、以前よりも楽器の音がきれいになったと思います。これからも、たくさん練習をして、コンクールで金賞をとりたいと思います。そして、この人のように、自分を輝かせたいと思いました。

私は、この「人に学ぶ」を読んで「確かにこの通りだ」と思いました。例えば、マラソンの練習では、毎日走っていれば少しずつタイムが上がっていきます。私は、「勝ちたい」「上がりたい」という思いをもち、努力をしなければ、夢を叶えることはできないと思いました。また、今の私は、このことができているのかな、と考えてみました。今回のテストで成績を上げたいと思っても、必死になって勉強をしていないから、成績も思うように上がりません。今の私は、思うだけでだめです。成績が上がるように、何かを捨てても、がんばらなければいけないと思いました。

「管内大会に向けて、3年生とともにがんばりましょう」